

RS クール水性Si

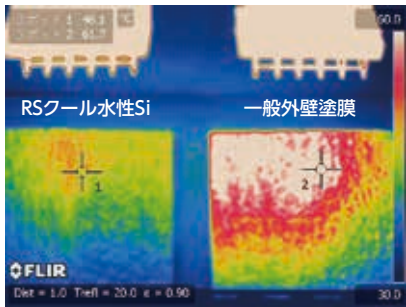
外壁の遮熱性能に最もこだわった夏の暑さ対策工法。

特長

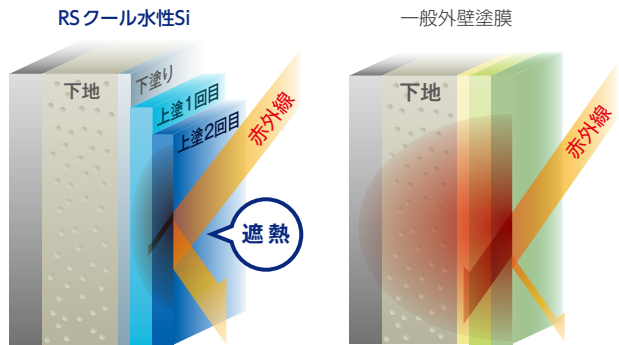
1 赤外線を効率よく反射させる

遮熱効果とは、太陽光線(赤外線)を効率よく反射し、外壁の塗膜表面温度上昇を抑制することです。それにより素材の蓄熱を抑え、熱による素材の劣化を防ぎます。

ハロゲンランプ照射実験例(サーモグラフィ画像)



一般壁用塗料と「RSクール水性Si」の塗板にハロゲンランプを照射して表面温度を確認しました。この実験では、表面温度で約15.6℃の温度低減効果が確認できました。(塗色:AW-016)



2 低汚染で汚れにくい

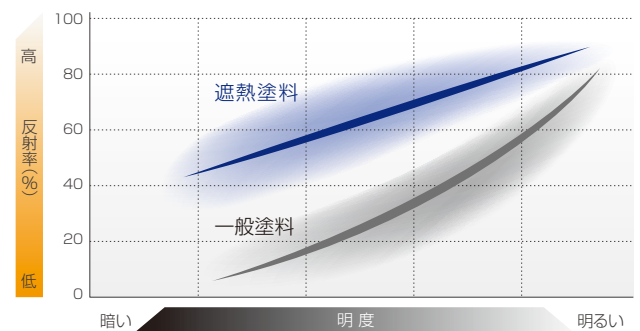
緻密かつ強靱な塗膜形成技術で開発された防汚性能が建物の美観を維持します。また、汚れによる遮熱効果の低下を抑制し、性能の長期維持を図ります。グラフでは雨筋が発生していないことと色味の変化が少ないことが分かります。

耐汚染性の比較



ΔL 値が高いほど汚れていることを示します。耐雨筋汚れ性試験板(屋外パワコ:東京都大田区1年間)

塗膜の明度と日射反射率の関係



COOLレベル 日射反射率*

- ① ② ③ ④ ⑤ 80%以上
- ① ② 50~60%
- ① ② ③ ④ 70~80%
- ① 40~50%
- ① ② ③ 60~70%

*一般屋根用塗料との日射反射率の比較は、「塗膜の明度と日射反射率の関係」のグラフをご参照ください。

塗料性状

荷姿	15kg, 4kg
混合比	—
色	白および各色
つや	つや有り
仕上り感	平滑
塗料比重	1.24(白)
溶剤比重	1.00(上水)
加熱残分	55%(白)
劇物表示(品名・含有量)	—
労安法上の表示有害物	—
有機則/特化則	—
消防法による危険物区分	非危険物
硬化剤の成分による区分	—

*上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装条件

塗装方法	ハケ	ローラー	エアレススプレー
希釈率	5~10%	5~10%	5~10%
標準所要量(kg/m ² /回)	0.13	0.13	0.16
希釈剤	上水		

*標準所要量は、個々の条件によって異なります。*標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項目	温度	
	23℃	
標準塗装間隔	最短	2時間
	最長	7日
使用時限	—	